

“重要文化財”12点登場!

※会期中展示替えがあります



“脚がハニワっぽい”

This is SUEKI

—Ancient Vessels, Timeless Forms

須恵器

This is SUEKI

“遊環つけた姿は勇敢ね”

“実は凝って作ってます”



洗練された造形美から、
ホッと安らぐカタチまで!



“須恵器界のビジュアル系”

—古代のカタチ、無限大!

2026 10.3(土) - 12.27(日)

開館時間: 10:00~17:00 (16:30 受付終了)

休館日: 月曜日 ※10/12(月・祝)・11/23(月・祝)は開館、10/13(火)・11/24(火)は休館

主催: 東京富士美術館 助成: 美術館連絡協議会、読売新聞社 後援: 八王子市、八王子市教育委員会
〒192-0016 東京都八王子市谷野町492-1 TEL 042-691-4511

FAM TOKYO FUJI ART MUSEUM
東京富士美術館

“MADE IN 加耶”



【陶質土器】有蓋台付双耳鉢
三国時代(5世紀後半～6世紀初頭)
韓国・加耶 東京富士美術館蔵

“長頸瓶の王者”



重要文化財 長頸瓶
古墳/飛鳥時代(7世紀後半)
猿投窯 三重県鳥羽市蟹穴古墳出土
東京国立博物館蔵
(Image:TNM Image Archives)

“遊牧民の皮製品が
須恵器に”



皮袋形瓶
古墳時代(6世紀中葉～後葉)
岐阜県岐阜市上加納稲荷神社出土
愛知県陶磁美術館蔵

This is SUEKI

須恵器

—古代のカタチ、無限大!

1600年以上前の古墳時代に生まれたやきもの「須恵器」。朝鮮半島との国際交流の中で培われた須恵器の製作技術は、日本の陶磁器生産の扉を開きました。須恵器は東アジアとの文化交流や、日本の文化や美意識に合わせて発展を遂げ、多種多様な造形が次々と生み出されていきました。その造形の幅広さからは、古代の社会や人々の思考をうかがい知ることができます。本展では、古墳時代から平安時代までの約500年間に全国各地で生まれた須恵器の名品を結集し、無限大に広がる古代の造形美をご紹介します。

Sueki stoneware pottery was first produced in Japan in the Kofun Period (ca. 300-710). The result of artisanal exchanges with the Korean peninsula, the manufacturing techniques to create the ware eventually led the way to Japan's renowned production of fine ceramics. Sueki evolved over the years, driven in part through Japan's cultural interactions with other East Asian countries, as well as by Japanese culture itself and its aesthetic sensitivities. The fusion of these elements spawned a wide variety of forms, their sheer diversity providing viewers of the exhibition with a rare glimpse into ancient society and the minds of its peoples.

"This is SUEKI—Ancient Vessels, Timeless Forms" covers many of the finest examples of the ware created across Japan over some 500 years from the Kofun to Heian eras, a fascinating introduction to the beauty of ceramic vessels from Japan's distant past.

プロローグ 須恵器とはどんなやきものか

1600年前に登場し、窯やロクロといった新技術を駆使した須恵器は、今日に続く日本の陶磁器の源流となりました。

Episode 1 海を渡った技術と文化

須恵器の源流となった朝鮮半島の陶質土器も交えつつ、最初期につくられた初期須恵器について、人の動きなどを交えて紹介します。

Episode 2 造形のうつりかわり

関東、東海、畿内、中国・九州の地域ごとに須恵器の変遷を紹介します。合わせて飛鳥～平安時代にかけて、変化していった須恵器の展開を紹介します。

Episode 3 ハレのうつわ～古墳時代の祭り～

装飾付須恵器を中心とし、不思議なその存在や形について紹介します。

エピローグ ～器を超えて

須恵器の技術を礎に誕生した新しい祈りの造形を紹介します。



関連
イベント

詳細はホームページ
www.fujibi.or.jp
にてお知らせいたします。

“鳥つきのふたは
東海魂”



愛知県指定文化財 鳥鈕蓋付台付壺
古墳/飛鳥時代(6世紀後半～7世紀初頭)
猿投窯 愛知県豊川市炭焼平14号墳出土
豊川市桜ヶ丘ミュージアム蔵

“自立できない
ドーナツ”



環状瓶
古墳/飛鳥時代(6世紀末～7世紀前半)
名古屋博物館蔵

“組み立て式、
移動は簡単です”



入塔
奈良時代(8世紀後半)
静岡県浜松市三ヶ日町宇志出土
奈良国立博物館蔵

表面 右上から 重要文化財 脚付子持壺形須恵器 古墳/飛鳥時代(7世紀) 鳥取県倉吉市上野遺跡出土 国(文化庁保管) | 重要文化財 七連杯付装飾器台 古墳/飛鳥時代(6世紀後半) 鳥取県倉吉市野口1号墳出土 倉吉市立倉吉博物館蔵 画像提供:倉吉博物館 | 広島県指定重要文化財 竜形須恵器 古墳/飛鳥時代(7世紀前半) 広島県安芸高田市一ツ町古墳出土 個人蔵 | 重要文化財 装飾子持壺付装飾器台 古墳/飛鳥時代(6世紀後半) 鳥取県倉吉市野口1号墳出土 倉吉市立倉吉博物館蔵 画像提供:倉吉博物館

入
場
料
金

大人:1,500(1,200)円 | 大高生:900(800)円 | 中小生:500(400)円 | 未就学児無料

※ 新館常設展示室もご覧になれます
※ ()内は各種割引料金 [20名以上の団体、65歳以上の方、当館公式SNSフォロワー・登録者ほか]
※ 土曜日は中小生無料
※ 障がいのある方、付添者1名は通常料金の半額 [証明書をご提示ください]

交通案内
はこちら



〒192-0016
東京都八王子市谷野町492-1
TEL 042-691-4511

■HP: www.fujibi.or.jp ■Facebook: www.facebook.com/fujibi ■X: @tokyofujibi ■Instagram: tokyofujibi ■LINE: lin.ee/kMOQ6yn

割引券

本チラシをご提示の上、1枚につき10名様まで有効 ※全て税込

大人:1,500円▶1,200円 大高生:900円▶800円 中小生:500円▶400円

FAM TOKYO FUJI ART MUSEUM
東京富士美術館